

## [026/027]九州人類学会報表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/2320973>

---

出版情報 : 九州人類学会報. 26/27, 2000-11-22. Kyushu Anthropological Association  
バージョン :  
権利関係 :

## 平成11年度 活動報告

[平成11年度 退会者・新入会員]

退会者 岩渕 謙治、田中丸 勝彦 (死亡)

入会者 関 一敏、井上 秀史、長谷千代子、宇野 功一、飯島 修二  
桑原 知子、内藤 順子、中村 聡

[平成11年度 会員数及び会費納入者]

会 員 数 129名

会費納入者 59名 (47%)

[平成11年度 例会発表]

6月総会 (平成11年6月26日)

高倉 洋彰 (西南学院大学) 「稲作の起源」

10月例会 (平成11年10月16日)

中野 紀和 (萩国際大学)

「祭礼からみた民俗の分析視覚—都市における他者の視点—」

中西 裕二 (福岡大学)

「災因の共時性と通時性—新潟県佐渡島の憑きもの現象の事例から—」

1月例会 (平成12年1月23日) [注1]

パトリシア・ウベロイ (社会学者、コレクター)

プージャ・スード (ゲストキュレーター)

「大衆メディアの中の女性たち—映画・ビデオクリップに見る女性イメージ—」

[注1] 1月例会は、福岡アジア美術館で1月20日～3月28日に開催された特別展「生活とアート1 インドのカレンダー・アート—女神からピンナップへ—」の一環として行われたもので、九州人類学研究会をこれに振り替えた形になった。会員への連絡は通常の例会通り行われたが、主催が福岡アジア美術館であったため、例会として民族学会に連絡し、学会HPへの掲載をお願いするのは控えた次第である。

[注2] 『九州人類学年報』26号は現在編集中である。

[注3] 3月例会は行われなかった。